

[目次]

・ 山行記録	p 2~3
見晴らし抜群の柏木山、浜石岳から望む富士の絶景、早春の筑波山を女子登山	
・ 2024 年度 第 17 回千葉支部定期総会、並びに記念講演	p 4~5
定期総会 三田 博 記念講演「海と山、奇跡的に生還した二人が語る過去と今」	
・ 役員の役職並びに担当 新任事務局長からのひとこと 三品 京子	p 5
・ 支部長退任にあたり 松田 宏也	p 5
・ 新任役員、協力委員からのひとこと 渡部 孝雄 ほか	p 6
・ 山行記録	p 7
アカヤシオと岩稜の二ツ箭山、賞味期限ギリ？白馬主陵、	
・ クライミング教室のレポート 印西の「クラック」ジム、栃木の古賀志山、奥武蔵阿寺の岩場	p 8
・ 山行記録	p 9
百蔵山から三奇矯「猿橋」へ、自然学巡検・弘法山の玉ねぎ石	
・ あの日の山 ー奥利根の山と谷ー 山口 文嗣	p 10
・ 山行記録	p 11
熊野古道小辺路（120 周年集中山行）、上越に山菜採り	
・ 神奈川支部主催で全国支部懇談会 三田 博	p 12
・ ウォーキングクラブ報告 宇津木 仁典	p 12~13
・ 支部山行の予定	p 14~15
・ 事務局からのお知らせ	p 15~16

2023 年 4 月からは全ての会友の期間は 2 年間とする。(現在入会している会友は 2025 年 3 月まで)
会友の期間終了後は会員もしくは準会員を選択してもらおう。なお、70 歳以上の会友は特別会友として対象外とする。また、70 歳以下でも山岳活動の講習等ができる方も対象外とする。

(年齢は 2025 年 3 月末時点とする)

見晴らし抜群の柏木山

松本 さゆり

山行日／天候：3 月 10 日（晴れ）
 参加者：L 今井貴朗、小川和敏、能美勝博、香高真奈美、
 末吉千穂美、北山幸子、松本さゆり（7 名）
 タイム：茜台自然広場 9:55 → 富士見の丘 10:15 →
 シダの道 10:20 → 柏木山頂 10:30 →
 赤根が峠 11:55 → 茜台自然広場 12:40



当日は晴れ渡る青空となり、飯能
 駅からバスで 10 分、永田大杉バス停
 から 5, 6 分舗道を歩き吾妻峡遊歩道
 へ。そして魚が見える程澄んだ川に
 架かるドレミファ橋の飛び石を渡
 り、茜台自然広場で体操をして出
 発。緩い登山道から少し急になり富
 士見の丘へ。ここでの富士山は・



気持ち程度に
 山頂が見えた。柏木山頂を目指
 す前にシダの道に入り、坂を下
 ると 5 分で両脇に、熱帯地方に
 いるような大きなウラジロのシダの群れが現れる。そ
 して富士見の丘に戻り山頂を目指す。急に視界が開け
 た柏木山の山頂からは、遠くにスカ
 イツリー、都心のビル群、筑波山、
 赤城山、富士山、西武ドーム等が見
 え、晴天に恵まれたこの眺望は素晴
 らしかった。木製のオブジェが出迎
 える山頂で早めの昼食を取る。下山としてはカモシカ
 新道（男坂）から赤根が峠を経由して茜台自然広場に
 戻る。リーダーの事前調査のお陰で、幾つかあるコー
 スの中からより良いコースを選んで頂き楽しい山行
 となった。



50 歳未満は、千葉支部への入会金と年会費 2 年間分を免除します！

千葉支部への入会には経験・年齢の制限は設けていません。身近な人で登山経験者や登山を始めてみたい方がいましたらご
 紹介ください。入会希望者向けの「ガイドンス山行」に参加できます。日本山岳会への入会もご相談に乗ります。特に若い
 方が入会しやすいように、50 歳未満の新入会員は入会金 1,000 円と 2 年間の年会費（正会員 1,500 円又は会友 3,000 円）
 を免除します。

浜石岳から望む富士の絶景

梶田 義弘

山行日：3月15日～16日（快晴）
参加者：CL 小川和敏、SL 三品京子、三田芳江、中田彩、今井貴朗、梶田義弘（6名）
タイム：16日／由比駅8：15→浜石野外センター分岐 10：10→浜石岳頂上 10：50→薩埵峠 14：00→興津駅 15：00

笑い出したいくらいの好天に恵まれた。静岡市の北東部に位置する浜石岳に登り、尾根伝いによって歌川広重の浮世絵、東海道五十三次「由比」に描かれた名所、薩埵峠に至るコース。由比駅をスタートしてしばらくは旧街道の趣のある道路を進み、やがてミカンが実る段々畑の間を抜けて山に分け入る。桜にはまだ早いが、モモやモクレン、ツバキ、スイセン、タンポポなど春の花があちこちに咲いて目を楽しませてくれた。

残念だったのは標高707mの山頂直下まで舗装道路だったこと。いいコースなのに山登り感が今一つ。山頂まで車で行けちゃうんですね。しかも途中、上から下りてきた車のおじさんが「山頂でクマが出たそうですよ。体長が1mあったらしい」と教えてくれたから、一同「やばい」。それからは時折、手をバンパンたたいて威嚇してみたり、「クマが出たらどうやって逃げようか」と頭の中でシミュレーションしながら警戒



していたが、幸いなことに会うことはなかった。代わりにカモシカがすぐ目の前に現れて、みんな夢中でカメラを向けた。

山頂は視界を遮るものがなく、雄大な富士山、駿河湾や伊豆半島などを360度パノラマで楽しみながら昼食タイム。



「来てよかったー」と心から思った。でもその後の薩埵峠までの道のり、長かったです、本当に。これ絶対Aランクの山行じゃないよなと思いつつ、結構急な斜面をひたすら歩き続けた。木々の間からきらきら光る青い海が見えた時は、泣きました、心の中で。薩埵峠は東海道随一の名所にして難所。展望台から駿河湾越しに見る富士山は、また違った美しさで魅了されました。

初日は沼津駅に集合し、足慣らしで沼津アルプスの入り口、香貫山公園を散策。沼津港深海水族館で珍しい深海魚や剥製のシーラカンスを見た後、寿司屋で地魚寿司を食べて結束を固めた。富士の絶景に新鮮な沼津の寿司、めっちゃ幸せな2日間でした。



早春の筑波山を女子登山

中田 彩

※4月14日の武甲山はHPの最新情報（山行報告）を参照

山行日/天候：3月30日（晴れ）
参加者：L 宮崎美智代、三品京子、末吉千穂美、中田彩（4名）
タイム：筑波山神社9：10→白雲橋コース 登山口9：15→女体山 11：00→筑波山頂駅 11：30→男体山 11：40→自然探索路、展望ポイント 11：55-12：20（昼食）→筑波山頂駅 12：50-13：00→筑波山神社 14：10

千葉支部初、女性だけの山行！抜けるような青空に気分はあがりませう。



満員のバスに揺られ、筑波山の麓へ。筑波山神社で安全を祈願し、登山開始。鬱蒼とした森を歩く。最初は緩い坂、途中から急登。ひたすら登り。息を切らしつつ、高度を稼ぐ。稜線近くで休憩。名前はbenkei hut。確かに外国人多め。

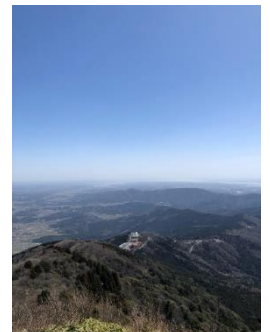


次は奇岩怪岩。弁慶の七戻り、母の胎内巡り。「煩惱を禊ぎ給へ（笑）」と祈りながら通り抜け。稜線を歩き、岩場の急坂の先は女体山頂。霞ヶ浦、関東平野が一望の絶景。

女体山から鞍部を超え、男体山、その後、自然散策路へ。寒さで遅れたが咲いています！カタクリ、キクザキイチゲ、ユリワサビ。山の花はどうしてこんなに可愛いのか。花を愛でながら静かな散策路を歩き、ゆっくりランチ。

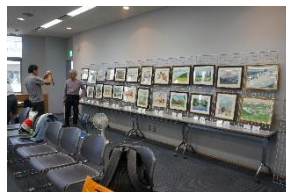
最後の下り。急坂、岩。気を抜かず歩き、無事筑波山神社到着。

バスを待ちながら、ご褒美のデザートを楽しみました。青空、気持ち良い稜線歩き、可憐なお花、そして優しさに溢れた素晴らしい山行でした！



● ● 第17回千葉支部定期総会並びに記念講演 ● ●

● 千葉支部の第17回定期総会が5月11日(土)、千葉市生涯学習センターで開催された。総会には会員27名、会友1名が出席した(書面による議決権は39通)。2023年度の事業報告、収支決算報告、監査報告と2024年度の事業計画、収支予算、役員選出などの議案が提出され、すべて原案通り承認された。総会は1時間ほどで終了し、休憩時間を使ってスケッチアークラブの絵画や写真同好会の作品を鑑賞した。



スケッチアークラブの展示会、並びに、房総の山復興プロジェクト及び平山文庫の紹介

● 引き続き行われた恒例の講演会は、「海と山、奇跡的に生還した二人が語る過去と今」と題して、佐野三治さんと松田宏也支部長の対談。会員会友だけでなく一般募集も行い、参加者は50名を越えた。1992年ヨットたか号で27日間の漂流の末に生還した佐野さんと、1982年ミニヤコンカで遭難19日間さまよい奇跡的生還を果たしたお二人の対談をおこなった。聞き手は山と溪谷元編集長で作家の神長幹雄さんで、生還後の生活や内面の葛藤も聞きだしてくれて非常に内容のある対談になった。



大いに盛り上がった記念講演



● 千葉支部定期総会で役員が選出され、役員会を経て2024年度の役職および担当が下記の通り決まりました。

役職	氏名	担当	役職	氏名	担当
監事	甘楽 敦夫		役員	香高真奈美	公益事業
監事	平出 正美		役員	宮崎美智代	山行
支部長	三田 博	全般	役員	今井 貴朗	山行
事務局長	三品 京子	総務/山行	役員	藤木玄三六	山行
会計	渡部 孝雄	総務/山行	協力委員	三木 雄三	公益/自然保護
役員	山口 文嗣	山行・古道PL	協力委員	宇津木仁典	ウォーキング
役員	小川 和敏	広報/山行	協力委員	中田 彩	公益
役員	平野 直子	山行/遭難対策	協力委員	成田 知彦	山行
役員	斉藤 和紀	広報	協力委員	小栗山大介	山行
役員	三田 芳江	山行	協力委員	東 蒼生	山行



今年度から事務局長を仰せつかりました三品京子です。入会以前はハイキング程度の経験しかなく申込書の山歴に書く山が無く苦慮したことを思い出しました。そんな私も先輩の方々に百名山はもとより海外にまで連れて行って頂き充実の登山をさせてもらっています。沢登りもそうですし、今年に入ってからクライミングの練習にも加えて頂き新しい山の楽しみも発見致しました。6年間会計を担当してまいりましたが、この度は事務局長ということで身の引き締まる思いです。お話を頂いた際に、事務局長の仕事内容が私の苦手な文章とパソコン作業、メール配信など問題が多々ありますが、何とかなるヨの一言でお受け致しました。三田支部長や役員の皆様に助けてもらいながらになりますが、千葉支部を盛り上げていきたいと思っておりますのでこれからも宜しくお願い致します。

● 支部長退任にあたり ●

松田 宏也



2019年千葉支部16名がネパールトレッキングに出かけたときのこと。エベレストビューホテルのテラスでお茶をのみながらエベレスト、ローツェ、アマダムラムの絶景に見とれたあと、カトマンズのホテルで前支部長の三木さんから「次の支部長をやってくれ！頼む」と頭を下げられた。断るわけにもいかず、山口さんと三田さんの同意もあり引き受けることになった。会員の高齢化、支部行事に参加する人達の固定化、リーダーと新入会員の不足、はたしてこの山岳会は、このままだとあと何年もつものやらという危機感。「過去は変えることができないが未来は変えられる」との信念で、とにかく『倶楽部ライフを生き活きと安全に楽しもう！』とのスローガンを掲げ新たな元号「令和」時代のスタートを切った。「リスク取らずして前に進むことなし、失うものはなにもない。実行あるのみ」で強引に多くの施策を企画し推し進めることになった。①もっともっと山に行こう！平日にも山行を！そのためには山行計画をもっと増やそう！②支部だよりの

原稿ルール決めと紙面をもっと見やすくおもしろく③山の文化を享受し健康推進のための自然学、ウォーキング、スケッチアートの同好会づくり④コロナ禍であったが会員の集いの場「房総Base」開設④ホームページの刷新と最新情報の掲載の徹底化⑤遭難対策費の積み立て⑥会友期間の見直し⑦房総の山復興プロジェクトへの参画と田中陽希講演会の大成功、そしてプロジェクトでの縁を得てCMSCA（千葉県スポーツクライミング協会）に加盟⑧初級登山教室の開催等々を役員と力を合わせやってきた。その効果は徐々にではあるが会員増に繋がってきたようだ。

個人的には2020年のGHT(グレートヒマラヤトラス)の第1回目への参加、2021年からは本部理事に就任のおかげで千葉支部の名が全国に広まり、他支部との交流が活発になったことはうれしい限りだ。支部長退任後は、任期がもう1年ある本部理事職に専念したいと思います。好きなようにやらせていただいた貴重な5年間。これも皆さんの応援のおかげです。本当にありがとうございました。



● 新任役員・新任協力委員からのひとこと ●



今年度から会計になりました、茂原市在住の渡部孝雄と申します。これまで技術関係の仕事しかやってこなかったのですが、会計業務は初めてでわからないことも多いと思いますが、前任者を頼りに精一杯頑張りたいと思います。5月に釈迦ヶ岳（高原山）、登り3時間、下り2時間30分の山行でしたが、久しぶりの山ということもあったと思いますが下山したときは限界にちかい辛さがありました。昨年は腰痛により殆ど山行に参加が出来なかった影響が大きかったようです。本年度は、ウォーキング、自然学、難易度Aの山行等を選んで、体力をつけることに頑張りたいと思っています。また、個人的には、12月後半から3月の下旬までスキー期間としております。今年の3月に志賀高原スキー場にて、72歳でバッチテスト1級に合格してとても嬉しかったです。ご迷惑をかける場面も多々あるかと思いますが、ご指導ご鞭撻いただけますと幸いです。これからよろしくお願ひ致します。



第17回総会にて役員を仰せつかりました茂原在住の平出正美と申します。山岳会千葉支部に入会し5年が経ち、入会当初の山行参加への高揚感は何処へやら。山岳会では壮年期？と言われる70代を迎え、体力、気力の半端ない、衰えに日々葛藤しております。山登りはさて置き、山仲間との楽しい語らいが、山行参加への後押しとなっております。楽しい語らいを求めて、積極的に山行に参加させていただきますので、ご一緒の節は宜しくお願ひ致します。



今年の総会にて役員を仰せつかりました四街道市在住の斉藤和紀と申します。70歳までは、朝のウォーキング、午後の花壇作り、時々昼寝、の繰り返しの退屈な人生を過ごしていましたが、千葉支部所属のスキー仲間からオフシーズンにウォーキングと登山に誘われ参加し、多くの人との出会いを通して、今までの人生には無かったチャレンジする事の喜びを実感することができました。人生の分岐点ともいえる千葉支部との出会いに加えて、より深く関わることが出来る役員に選んで頂いたことで、少しでも皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思いますので、今後ともよろしくお願ひ致します。



このほど JAC 千葉支部山行委員ならびに遭難対策委員に就任いたしました平野直子と申します。JAC 入会は 1990 年代ですが、長らく首都圏支部で幽霊会員をしていましたところ、松田前支部長のお声がけで一昨年千葉支部に転属しました。これまで山行は主に千葉県労山所属の会で行っており、また国体山岳競技（現スポーツクライミング競技）で千葉県代表選手をしていたご縁から、千葉岳連（現 CMSCA）並びに日山協（現 JMSCA）において競技役員、オリンピックを含む審判、クライミング講習、安全登山講習等をさせていただいております。現在は JMSAC 指導委員会副指導委員長、CMSCA 指導委員長、千葉県フリークライミング協会理事を務めています。これから皆様と色々な山や懇親会にご一緒し、楽しい時間を過ごしたいと思います。また、みなさまの安全登山の一助になれば幸いです。



山行を担当します今井貴朗です。身近な里山からアルプスまで、主に一般登山道での日帰りから縦走山小屋泊り等、幅広く楽しみたいと思います。個人的には景色派？なので、絶景を求めての山旅を追及出来たら幸せかな。登りたい山があれば是非リクエスト・メールを！



2024 年度山行委員として参加させて頂くことになりました宮崎美智子です。前年度、協力委員として始めましたが現在2回しか山行は実行できていません。これから先輩役員の方々の山行に参加させて頂きながら色々体験を重ね、皆様と相談しながら山行企画をしていけたらと思っています。登山経験も浅く体力もありませんが少しずつ協力できればと考えておりますのでどうぞよろしくお願ひ致します。



はじめまして。この度、協力委員に任命されました成田知彦と申します。私は2023年6月に千葉支部に入会しました。登山経験は少ないですが、色々経験出来た1年でして、良い意味で生活感が180度変わりました。(笑)その中で山行計画を作る事の難しさ、救護などの各知識の必要性を感じております。今回の協力委員拝命をきっかけに様々な山行に参加し、サブリーダーになる為の勉強をしたいと思っておりますので、ご指南宜しくお願ひします。



昨年末より会員となりました。小栗山大介です。登山を始めたのは20代前半で、何となくここまでソロ山行を中心に歩いてきましたが、一人で出来る限界を感じて「もっと山について学びたい。」と思い山岳会に参加させて頂きました。ロングトレイルに憧れがあってこれまではトレッキングを中心に山を楽しんできましたが、今後はトレッキングの他クライミングが必要な山にも挑戦したいと思っていますよろしくお願ひ致します。



こんにちは。東 蒼生(ヒガシ アオイ)と申します。年齢は20歳です。ある日突然、気づいたら協力委員に任命されてしまいました。自分は、昨年度まで環境保全の専門学校に通い、環境、自然について幅広く学びましたので、培ったことをアウトプットも兼ね、協力委員に活かせればと思います。山の経験といたしましては、三年ほど、日帰りのみではありますがコンスタントに様々な山に登っています。いくつかあげますと、筑波山や黒姫山、火打山などです。協力委員になりましたが、皆様から教えられることが多いかと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

アカヤシオと岩稜の二ツ箭山

三品 京子

山行日/天候：4月12日（曇り）
 参加者：L 平野直子、三田博、三田芳江、三品京子
 タイム：二ツ箭山登山口 8:45（沢コース）→男体山
 10:10→女体山 10:25→駐車場 12:10

山桜で彩られている里山を見ながら高速道を走り登山口に到着。準備を済ませ車道を道標に従って進む。やがて林道になり登山道口へと続く林の中、岩の上にケルンがアーチ型に作られているのを発見。



絶妙なバランスに感心する。一つ見つけると気になって探しながら歩くとそこに作ってある。

沢沿いの登山道を進み尾根道の分岐を過ぎ御滝まで来た。そこから急登が始まり

鎖場や岩の滑りやすい箇所もあり注



意して登るとメ張場の分岐に出た。尾根コースを進むと巻道と岩場の分岐となり岩場の方を登り始めると今回の目的のアカヤシオの花が斜面に咲いている、岩の合間にも咲く花々に元気をもらい男体山の鞍部に着く。ほぼ垂直の鎖場をホールドとスタンスを確認しながら慎重に登り岩の上



に立つ。眼下に咲くアカヤシオを見ることが出来た。この斜面が満開の花で埋め尽くされたらさぞかし美しい山肌になるのだろう。

男体山を慎重に降り女体山へ登り返すと雨粒がポツリ、予定を変え月山へは行かず沢コースを降るが登山道らしい道は不明。沢コースではなく沢歩きそのもので水量の多い沢を何回も渡渉してメ張場へ戻り登りの登山道に合流し駐車場へ到着した。昼食は天ぶらを頂き平野リーダーの案内で山菜採りを楽しみ、盛沢山の山行になりました。

賞味期限ギリ？白馬主稜

上條 誠一郎

※個人山行

山行日/天候：4月14日～15日（晴れ）
 参加者：L 平野直子、上條誠一郎（2名）
 タイム：4月14日 二股P 9:00→猿倉 10:30→白馬尻 12:30
 15日 白馬尻 4:00→白馬岳 11:00→白馬山荘
 12:00→白馬尻 13:30→二股 16:30

4月というのに暖かい日が続く雪が腐ってるのではと思いつつ千葉を出発。猿倉までの林道はまだ開通していないので二股から猿倉まで林道を10kmほど歩き、猿倉から白馬尻までは雪道をひたすら歩く。案の定とても暑くまだ4月だというのに半袖が丁度いいくらいの気温で雪が腐ってることで撤退を心配するも、土日に白馬主稜を登ったパーティーが多く話を聞くと雪質が良いらしい。これは早く帰れるのではと淡い期待を抱く。白馬尻にテントを張りこの日の行動はこれで終了。

翌日、真っ暗い中ヘッドライトをつけて白馬主稜の取り付けへ向かう。取り付けから主稜線上まではひたすら急登を登る。日が出るまでは雪質もよく順調に進む。稜線上に上がったあたりで日の出、左手前に見える杓子岳が真っ赤に染まっていた。稜線上に出てからはひたすら稜線上を進む。途中、僕の体調不良もあり雪が腐ってズブズブになってしまった。最後にはロープを出して斜度が70度だと言う雪壁を登り雪底に空いた穴から頂上にトッアウト。頂上から登ってきたうねうねの



主稜を眺め達成感を噛み締める。時間が押していることもあり早々に下山開始。白馬の頂上からは踏み抜き地獄の大雪渓を駆け下りて白馬尻に戻り、テントを撤収。そして長い長い林道をひたすら歩き二股に到着。

今回の白馬主稜は経験的にも体力的にも難しい山行となったけれど途中で真っ白な雷鳥との遭遇などもあり達成感が大きくとても充実した楽しい山行となりました。最後に登っているところを写真に撮ってくださった先行パーティーの方々ありがとうございました。



私にとっても念願の初めての白馬主稜でした。長い林道歩き、雪質の見極め等なかなか大変ですが、行く価値のある素晴らしいコースでした。今回ご家庭の事情で直前キャンセルになった小栗山さん、次回は是非素敵なお山に行きましょう！そして上條君、いつも熱意いっぱいチャージされます。ありがとうございました。【平野】

● クライミング教室の実技レポート ●

2月13日の机上教室から始まったクライミング教室が実技教室に移り、徐々に技術的な向上が見られるメンバーも見受けられます。講師役平野直子役員の丁寧な射た指導の賜物と思われます。

● 第2回教室・印西市の「クラック」ジム

3月28日(晴れ)

参加者：三田博、山崎完治、小川和敏、小栗山大介、上條誠一郎、三品京子、羽藤美代子、三田芳江、横江紗也香(9名)



印西クラックで行われた初級クライミング教室に参加した。今回のテーマは「ハイキングで使えるロープワーク」。午前中の近くの公園でロープワークを学ぶ。どんな装備が必要かということに始まり、準備した道具をどう使うのかということを教えて頂いた。講師の平野さんの説明は細やかで「なぜそうするか」まで掘り下げられているので分かりやすい。スリングを使った簡易ハーネスの作り方やロープを使った確保の仕方など、実際に山行中に必要になったシーンが想定しやすく大変勉強になった。

休憩を挟んで午後はジムにてビレイの練習。上から重りを落としてダイナミックビレイを実践する。急に止めるのではなく「流す」ことを学んだが、難しい。どうしても落ちてくるものに対して緊張してビレイする手も強まってしまう。こうした技術の習得は、ひたすら反復練習に限る。自分だけでなくグループでの安全登山も考えて、実際の山で使えるようしっかり身につけたい。(小栗山 大介)



● 第3回教室・栃木の古賀志山

4月21日(晴れ)

参加者：三田博、三田芳江、三品京子、横江紗也香、灘信宏(5名)



古賀志山は初心者から上級者まで利用できる宇都宮近郊の有名な岩場だそう。当日もクライマー達で駐車場は比較的混雑していた。不動の滝があるクライミングゲレンデまで平野さんにいろいろな山菜を教わりながら向かった。到着して荷物を解き、不動の滝そばの瀧神社で安全祈願をした。ハーネスの装着、ロープの結び方、クライミンググレード(デンマルグレード)、ビレイデバイスの使用方法、登り方について等々講義を受け、左奥フェイスでクライミングを開始した。平野さんはスイスイ登ってトップロープを張ったので簡単そうに感じたが、いざ登ってみると岩が迫り出していたり、つかめるホールドや足の置き場所がなかなか見当たらなかったりと難しかった。なんとか2本のルートに登り、クライマーでにぎわう不動の滝の左エリアへ場所を変えた。ここからがクライミングと呼べるものなのかもしれないが、結局、上まで登ることはできず、平野さんが簡単そうにスイスイ登るのが不思議だった。

今回、屋外で初めてのクライミングだったので、忘れられない思い出になった。やはり練習は必要なのだとつくづく感じた。(灘 信宏)



● 第4回教室・奥武蔵阿寺の岩場

5月21日(曇り)

参加者：三田博、三品京子、横江紗也香、三田芳江(4名)



三回目の初級クライミング講習会が奥武蔵の阿寺ゲレンデで開催された。前回に引き続き外岩での実習。人気のゲレンデなのにこの日は運よく誰もいない貸切状態。沢山あるルートの中から初級者向けのルートに平野さんがトップロープを設置してくれた。クライマーとビレイヤーのお互いの安全確認を復習。

登り方のポイントを教えてもらい、ゆっくり丁寧に手や足の置き場所を探しながら岩に取り付く。高度感のある「大野カンテ」ツルツルの滑りやすい「ドンコちゃんスラブ」など6ルートに挑戦。「もう無理登れません！」そんな時にも平野さんの的確なアドバイスのおかげでクリア。それぞれが講習の手応えを感じた回になった。頑張った後のご褒美天ぷら蕎麦が美味しかった。次回の小川山合宿が楽しみだ。

(三田 芳江)





百蔵山から三奇橋「猿橋」へ

斉藤 和紀

山行日/天候 ; 4月20日 (晴れ)

参加者 : L 小川和敏、三品京子、宮崎美智代、末吉千穂美、
斉藤和紀 (5名)

タイム : 猿橋駅 9:00 ~ 市宮グラウンド 9:30 ~ 登山口
9:40 ~ 百蔵山 11:00 ~ 見晴台
12:00 ~ 大山祇神社登山口
12:30 ~ 猿橋 13:00 ~ 猿橋駅
14:20

私にとっては今年最初の登山。皆についていけるか心配しながらのスタートとなった。

猿橋駅から登山口までは徒歩でのリーダーの第一声。登山口までは



舗装道路の上り坂、後半にさしかかった所で登山口行きのバスに追い越される。内心「何でバスが」との叫び、私だけではなかった。

リーダーより登山口からは斉藤が先頭でコースタイムプラス 30 分の速度でとのお達し

を受け、登山開始。経験の浅い身としてはペースが不明。登山道のわきに咲く小さな花に気を配る余裕もなくひた



すら登る。だが、さすが女性先輩方、後ろで花談義、写真撮影と余裕が見て取れる。途中、念願の富士山が視界に。写真を撮り、またひたすら登る。頂上手前で一杯一杯、冷や汗と 25 度越えの季節外れの暑さで上半身汗だく。後ろの女性陣は息も切らさず淡々と歩を進めている、同じ人間か? と疑いたくなるのは私だけであろうか?。

山頂で富士山を眺めながらの早めの昼食タイム、富士山をバックに集合写真撮影。撮影後下山開始。皆の迫って

くる足音にせかさされながらも順調に歩を進める。途中の見晴台にて再度富士山を写真に収め下山を続行、分岐点で近道を選択してしまい立ち寄り予定の大山祇神社をパスしてしまう失態を犯すも無事に登山口まで下山。代わりに日本三奇橋の猿橋見学を追加。猿橋の外観は猿が手をつないで対岸に渡っていく姿を基にしているとの説があり、形がユニークな橋で

ある。が、そんな歴史説明、橋の外観観察より暑さと喉の渇きに負け、見学もほどほどに反省会を開催。のどを十分に潤し帰途に着くことにした。



自然学巡検・弘法山の玉ねぎ石

黒住 清美

巡検日/天候 4月20日 (晴れ)

参加者 : L 三木雄三、今井貴朗、平出正美、宇津木仁典、
吉永英明、國宗 文、梶田義弘・天兵、竹園清孝、
竹内 進、黒住清美 (11名)

今回のテーマは「玉ねぎ石」。初夏を思わせる晴天の下、丹沢山塊の東南端に位置する弘法山を訪ねた。小田急線秦野駅をスタートし、水無川沿いを 30 分程歩いて弘法山公園入口より山へ入る。急な登りをたどるとまもなく



「薄皮がむけてる!」の声が上がった。指さす所に目をやると、幾重にもタマネギの皮をむいた



ようなまあい石、玉ねぎ石がポコポコと、こぶし大から一抱え大のものまで沢

山ある。これは丹沢が隆起して砂岩が地表に露出してから、節理と風化作用によって形成された



秦野市街の眺望を楽しむことが出来た。これぞ弘法大師様のご利益かと。



尾根伝いに標高 235m の弘法山を下る途中、再び現れた玉ねぎ石の石だたみを踏みしめつつ、吾妻山を經由して鶴巻温泉駅へ至りゴール。

玉ねぎ石のキュートな姿に心を奪われたメンバー達、今後タマネギを食する度に今日の巡検を思い出すこと間違い無しです。



あ の 日 の 山



— 奥利根の山と谷 — 山口 文嗣

坂東太郎とも言われる利根川は、上越国境の大水上山に源を発し、多くの支流を集め関東平野を流れ下っている、流域面積日本一の大河である。野田市関宿で江戸川を分け、県北部を東流し、銚子で太平洋に注いでいるので千葉県の河でもある。利根川源流域の中でも、藤原ダム以奥の山域が「奥利根」と称されている。藤原ダム上流にも須田貝ダム、奈良保ダム、八木沢ダム（奥利根湖）という三つのダムがあるが、藤原ダムを要として扇状に広がる集水域は武尊（ほたか）山～笠ヶ岳～至仏山～ススケ峰～平ヶ岳～大水上山～丹後山～下津川（しもごう）山～巻機（まきはた）山～朝日岳～白毛門に囲まれた地域である。千葉支部会員であれば、いずれの山名も聞いたことがある、あるいは登ったことがある山々であろう（中にはススケ峰や下津川山など、一筋縄でいかない山もあるが）。

初めて奥利根の山に足を踏み入れたのは、今から30数年前、昭和の最後の年あたりであったらうか。平ヶ岳から今では廃道となっている水長沢（みなながさわ）尾根を下降、利根川本流から水長沢を登り返すという山行であった。それから20数年間、無雪期、積雪期を問わず機会があれば奥利根に通った。その魅力とは、一部の山域を除きほとんど登山道の切り開きがなく、入山者もわずかなため、原生の自然が多く残っていることであろう。

あまたの奥利根山行の中で特に思い出深いのは、20年ほど前の利根川本流遡行であろうか。そのころ所属



していた童人トマの風の仲間3人と出かけた。8月のお盆のころ、八木沢ダムから高柳盛芳さんの奥利根マリンの渡船で出発。かつて2日



がかりで到達した奥利根湖バックウォーター末端の水長沢出合に1時間ほどで着く。利根川本流は難しい〜つり、渡渉、急

な草付きの高巻き、泳ぎ、急な増水、大滝の登攀等、総合力を試される沢であった。特に中流のオイックイと称される場所の巨大な雪渓の通過は、出口が見えない真っ暗な中を雪融け水をポタポタ受けながら歩くのも、いつ崩れるかわからない雪渓の上を歩くのも、肝を冷やすものであった。特に雪渓の上から川床に降りられず、スノーボラード（注）にザイルを巻いて懸垂下降したのは、今でも怖かった思いがあ

る。大利根滝、赤沢滝など20m級の滝を三つほど越え、入渓3日目ようやく大水上山々直下の利根川の最初の一滴が流れ出すという三角雪田にたどり着き、乾いた喉を潤した。

積雪期には越後駒ヶ岳から中ノ岳、兎岳（途中荒沢岳をピストン）、大水上山、丹後山と上越国境稜線を堪能した。3月に白毛門から朝日岳を越え、柄沢山、巻機山までの縦走もした。一番の思い出は丹後山から大水上山、平ヶ岳を越え尾瀬ヶ原まで利根川の源流域を残雪を踏みしめてぐるっと一周したことである。

2020年9月には千葉支部の仲間（三田博、山田紀夫、小川和敏、今井貴明、三品京子、宮崎美智代、三田芳江の諸兄）を案内して、久しぶりの大水上山、利根川水源碑、丹後山避難小屋を再訪できて、思い出に残っている。

（注）スノーボラード：雪の上に直径2mくらいのティアドロップ型の円を描き、その縁の外側を掘って、そこにロープを掛けて懸垂下降の支点とすること



熊野古道小辺路 (120 周年集中山行) 福里 清信

山行日/天候: 5月18日 (晴れ)
 参加者: L 柳川しげよ、吉田望、國宗文、福里清信
 タイム: 7:00 十津川温泉→果無峠→八木尾→熊野本宮
 大社→15:00 大斎原
 (前後の行動は、17日:東京→南紀白浜→十津川温泉
 泊、19日:自由解散)



日本山岳会の120周年記念事業として企画された「日本山岳会が選ぶ山岳古道120選」のひとつに選ばれた熊野古道の集中山行に5名で参加した。残念ながら松田さんが右手首骨折でリハビリ中のため山行には参加できず急遽リーダーを柳川さんをお願いして4人での山行となった。

十津川村温泉を7時に出発し、約40分で果無集落に到着。果無は「はてなし」と

読むが、少し驚くような地名で、その分とても印象的である。ここには「世界遺産石碑」もあり、熊野古道小辺路の尾根道は10戸足らずのこの集落を貫くように通っている。果無集落を過ぎると果無峠までは標高差約1000mの上り下りの登山道となる。石畳なども残る美しい道で、沿道には西国三十三観音が道行く人を見守っている。熊野古道はハイキング程度と思っていた私には予想もしない厳しい

道で、ペースは自然と落ち途中の時間が少しずつ遅れ、昼食を摂った果無峠に到着したのは予定よりも1時間遅れ



となった。果無峠を越えると下り道となり、お昼を摂って元気が出たせいもあってペースも上がったが、遅れを取り戻すことは出来なかった。2時半頃に八木尾バス停に到着して三十三観音の第一番を探した結局見つからず、吉田さんがバス停でその日最後のバスを待たせてくれたお陰で、バスで遅れを取り戻すことができ熊野本宮での全員集合に何とか間に合うことができた。この日の山行は時間7:30、距離10km、のぼり1024m、くだり1054mであった。その後、バスでホテル浦島に移動、92名参加の大懇親会となった。

私にとっては初めての山岳会のイベント参加でしたが、皆さんにとっても良くして頂いて楽しい3日間となりました。ありがとうございました。



上越に山菜採り 羽藤 美代子

山行日/天候: 5月20日 (雨のち晴れ)
 参加者: L 平野直子、三田博、三品京子、三田芳江、
 羽藤美代子 (5名)



今日は朝から雨。こんな雨の日は登山は中止だろうけど、山菜採りはカッパ着れば大丈夫と思いながら、いそいそと待ち合わせ場所へ。車窓からの三国街道沿いの新緑に包まれた山々の景色が美しい。目的の場所で車を降り、長靴に履き替えカッパを着て、リーダーの後に続き笹の藪の中へ入っていく。根曲がり竹はどこ? 初心者には目に入っていないのか、なかなか見つけれない。枯葉でおおわれた斜面で笹の藪を掻き分けながら、なんとか少し採れたが、笹の藪から抜け出てきた時はホットした。

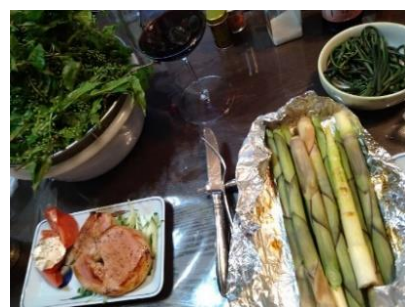
もう少し上まで車で移動してわらびのポイントへ。前の年に成長して枯れた枝を目安にその根元を探すとわらびが生えていると聞いていたので結構採れた。リーダーがウ

※5月1日~2日の茨城の山菜採りは千葉支部HPの最新情報(山行報告)を参照

ワミズザクラの花穂の蕾を沢山抱えて降りてきた。花穂の蕾の塩漬は杏仁子と言って杏仁の香りがして酒の肴等になるそう。

道路沿いの欄干をまたぎ急な斜面で山うどを手際よく採ってるリーダーの姿は山菜採り名手のようだった。道路沿いの山葡萄の新芽も採った。天ぷらで食べたらブドウの味がして美味しかった。

移動して小高い眺めの良い所で昼食。雨も上がり青空も見える。心地よい疲労感と、山菜を採った満足感でおにぎりが美味しい。腰を上げると周辺に沢山わらびが生えている。面白いほど採れる。根曲がり竹も目が慣れてきたのか、見つけるのが早くなった。山菜採りの面白さを知り、山の恵を頂いて、今日は充実感に包まれた日となった。



● 神奈川支部主催で全国支部懇談会 ●

第37回全国支部懇談会が5月25日、平塚市で行われ、千葉支部からは4名が参加した。今回は、湘南平で岡野金次郎翁の記念すべき第1回碑前祭に合わせて神奈川支部が主催した。岡野金次郎は、小島烏水と共にウォルター・ウエストンの知己を得て、それが日本山岳会の設立につながった。平塚市は岡野が晩年を過ごした場所で、湘南平に顕彰碑が建立されている。今年は生誕150周年にあたり、岡野・小島両家の御子孫たちも参加し、JAC全国懇談会に合わせて、約150人が集まり盛大に碑前祭が行われた。

碑前祭終了後は、会員による恒例の懇談会が平塚駅前のホテルで行われ、全国の支部から持ち寄られた地酒を酌み交わし、親睦を深めた。

翌26日の交流登山は、三浦アルプス縦走と鎌倉大仏ハイキングのグループに分かれ行われた。夏のような天気だったが、海風も気持ちよく自然たっぷりのコースを歩くことができた。2025年度の全国支部懇は10月に関西支部設立90周年に合わせて開催される。



参加者：松田宏也、三田 博、山崎完治、福里清信

ウォーキングクラブ報告

宇津木 仁典

● 飛鳥山公園・六義園・巣鴨ウォーキング

NO21 3月30日(土) 晴れ

参加者：塩塚生二、黒住清美、坂上光恵、新井好夫、國宗文、小林義亮、小林ユキ子、

L 宇津木仁典、会員友人1人(9名)

2日目 3月31日(日) 晴れ

参加者：竹園清美、平出正美、渡部孝雄、斉藤和紀、長谷川博、羽藤美代子、梶田義弘、

L 宇津木仁典、会員友人2人(10名)

土曜日及び日曜日の両日ウォーキングには19名が参加した。コースは両日同じくしてJR王子駅前集合10:00、ゴール地はJR巣鴨駅前(解散16:00)、ウォーキング歩数21,000歩、距離13.5kmであった。

主な立ち寄り地は、名主の滝公園→音無親水公園→飛鳥山公園→渋沢史料館→旧古河庭園→六義園→染井さくら発祥記念公園→染井霊園→鴨地蔵商店街(おばあちゃんの原宿)通り→とげぬき地蔵尊でした。六義園では、樹齢70年余の枝垂れ桜がみごとに満開であって大勢の人々の輪ができて、写真撮影をしていた。

このウォーキングに参加した千葉支部新年度役員(広報担当)内定の斉藤さんから、ウォーキングを顧みて次の手記が寄せられた。

「私事で恐縮ですが、参加を後押ししたのは半世紀以上前の青春のほろ苦い思い出の地である巣鴨駅が訪問地に含まれていた事である。半世紀を超えて訪れる巣鴨駅 まだおばあちゃんの原宿とは呼ばれていなかった頃の地蔵通り商店街、青春の思い出に浸りつつ、今の自分を見つめ直す機会にしたい。」

スタートは、北とびあ17階展望室から王子駅周辺及び遠景を眺めつつウォーキングコースを確認、最初の訪問地王子稲荷神社へと歩を進める。まずはみんなの第一声暑い、気温26℃越え初夏の陽気、着ていた上着を脱ぎ暑さ対策、リーダーの水分補給を忘れずに第一声、この暖かさに後押しされての桜の開花を期待していたが、固くつぼみを閉じたまま、ガッカリの景色を見ることとなった。

名主の滝公園では、コンパクトな日本庭園を楽しむことが出来たが揚水での滝等、水の入れ替えが無く水が濁っていたのが残念であった。王子神社では立派な神輿を見る事ができ、神輿作成のために氏子が寄附した一人当たり100万円を超える寄付金額に驚かされる。地域の祭りに対する氏子の心意気を、改めて日本人で良かったとの思いを再認識する。石神井川遊歩道では、多くの水彩画家に遭遇、SACに所属する身としては出来栄が気になる所批評は避ける。飛鳥山公園で昼食、エイサーの音楽を聴きながら各自持参した軽食に舌鼓、野外での昼食は格別日頃味わえない空気もおかずとなる。昼食後は渋沢博物館へ、数々の偉業を目の当たりにして自分の小ささを思い知らされる。江戸、明治、大正、昭和初期と無から創り上げた近代化の時代だからこそ出来た偉業と自分を納得させるもはずかしい限りである。旧古河庭園ではボランティアの説明員による歴史説明、庭園造営作者の思いなどを聴き、当時のブルジョワ階級の生活に思いをはせる。



六義園でもコンパクトな日本庭園をウォークして楽しんで満開の枝垂れ桜の前で集合写真を撮影、皆の疲れもピーク足早に退園、続いて染井吉野桜発祥の地を見学、公園には3本の桜の木、花も咲いておらずちょっと拍子抜け、足早に帰路につく染井霊園では有名人の墓を見学しつつとげぬき地蔵尊商店街へ、赤パンツ店舗では真っ赤なパンツと靴下に圧倒され、とげぬき地蔵尊へ、地蔵の前は長蛇の列、直したいところ(頭)があったが、遠くから地蔵の頭をエアークレンジする。半世紀前の地蔵通り商店街の記憶を呼び起こしつつ、近代化された今の商店街と記憶を重ね合わせ、ノスタルジーに浸りつつ終了した。



● 船橋「アンデルセン公園」と松戸「21世紀の森の広場」ウォーキング

NO22 4月29日(月・祝) 晴れ ※本文は千葉支部HPの最新情報(公益事業)を参照

● 鎌倉天園ハイキング&史跡寺院巡り

NO23 5月19日(日) 曇り

参加者:黒住清美、羽藤美代子、平出正美、長谷川博、梶田義弘、斉藤和紀、鎌谷繁、中場義則、小林ユキ子、竹園清孝、新井好夫、L宇津木仁典(12名)

スタート地=JR横須賀線・北鎌倉駅前 10:00、ゴール地=JR横須賀線・鎌倉駅前 16:00

歩数は約20,000歩超、距離は約13kmであった。

主な立ち寄り地は、北鎌倉駅前→ウォーキングコース(明月院入口→半増坊→十王岩→大平山→天園→瑞泉寺前)→瑞泉寺→鎌倉宮→永福寺史跡→源頼朝の墓→鶴岡八幡宮(解散)→鎌倉駅。

毎月実施(計画)では舗装平坦であるが、今回は一変して起伏があるハイキングコース、しかも鎌倉ハイキングコース内では最も長いコースを選定計画して健康目的に有酸運動を実施した。

このハイキングコースは、鎌倉古道であって神奈川歴史保存地区に指定され、周辺には沢山な樹木が生い茂りまた展望場所からは建長寺と照葉樹その先に相模湾が遠望できた。

毎月の計画に参加している長谷川さんは「起伏路周辺には樹木がいっぱいでお気に入りになった。また楽しみに来よう……」と話していた。

起伏コースを歩き終わって舗装平坦路では、最初に立寄った瑞泉寺では総門前で集合写真撮影、国の史跡、庭園は国の名勝に指定され「花の寺」で知られている境内庭園を散策して疲れを癒した。その後も人が賑わう史跡、観光地巡りが延々と続いた結果、心地よい筋肉痛になるだろうか?



行きたい山の声を募集します!

ここ数年、支部山行の参加者が固定されている傾向があります。出来るだけ幅広い参加者をとの思いから、難度Aの山行を計画するとか、平日の山行を計画するとかいろいろ試行錯誤していますが、なかなかフレッシュな参加者が増えません。「こういった山行をしてほしい」「この山にいつか行ってみたい」とか・・・何でも良いので、千葉支部の事務局までメール連絡を頂ければと思います。可能な範囲でご希望に沿う計画を立案します。 **送信先 ; cib@jac.or.jp**



支部山行の予定

- 山行の心得 - リーダーは、ガイドや添乗員ではありません。
「連れて行ってもらう」ではなく、自主的な意識を持ち参加してください。

リーダーが参加者にそれぞれ役割を振り分けますので、積極的に引き受けてください。参加する前に、山域、コース、交通機関などは地図やガイドブック、ネットなどで十分下調べして下さい。地図・コンパス・筆記用具は、どんな山行でも必ず持って来て下さい。また、山行に見合った登山保険には必ず入って来て下さい。遭難救助付きの保険加入は任意ではなく、すべての登山者の義務です。体調不良者が出れば事故と同じで、山行は中止になり引き返すこととなります。日頃の自主トレーニングも是非行なうようにして下さい。



リーダーの連絡先	
宇津木 仁典	紙面を参照ください
松田 宏也	
三木 雄三	
三田 博	
三田 芳江	
平野 直子	
小川 和敏	
三品 京子	
今井 貴朗	
宮崎 美智代	
東 蒼生	

《難度》

- W ウォーキング
- A 整備され歩行2～3時間
- B 歩行5時間前後
- C 歩行7時間前後、一部岩あり体力要
- D 強い体力、岩技術要
- E 高い適応能力要、危険度大

(難度はJAC日本300名山を参考。岩・沢及び積雪期は難度アップとする。)

個人山行も計画書提出を 送信先 ; cib@jac.or.jp

● 山行の申込み

申し込みは、原則として電子メールで行ってください。その際には下記事項の記入をお願いします。
また山岳保険には必ず加入してきてください。

- ①氏名②生年月日・年齢③住所、自宅電話番号、携帯電話番号④緊急連絡先氏名(続柄)、緊急連絡先電話番号
 ※年齢は山行日の年齢です。計画書と違うと保険が効かない可能性もあります。

山行は定員を設けています。また、技術・体力不足、初参加で力量不明の場合はお断りすることもあります。

各山行形態に見合った山岳保険に加入していない場合は、当該山行には参加できません。

山行カレンダー(7月～12月)

日程	山名	難度	備考	リーダー	締切
7月6日(土)	栃木・大小山	B	《自然学》プランクトンの山	三木	6月29日(土)
7月6日(土)	笠山・堂平山	A	比企地域の名峰を縦走	小川	6月30日(日)
7月12日(金)～14日	白馬岳	C	大雪渓から登る	今井	5月19日(日)
7月20日(土)	房総・大房岬	A	《ガイドンス山行》	三田	7月13日(土)
7月22日(月)	日光・女峰山	C	キスゲ平から。鳳凰三山に変更もあり	平野	7月15日(月)
8月2日(金)～5日	常念・大天井・燕	C	穂槍を眺める北ア・パノラマコース	今井	5月26日(日)
8月9日(金)～10日	男体山	B	日光に前泊 二荒山神社奥宮へ	小川	7月10日(水)
8月11日(日)	山の日ビールパーティー				
8月17日(金)～19日	北穂高岳	D	涸沢テント泊	三田	7月10日(水)
8月下旬	日原鍾乳洞(予定)		(公益事業) 晴香園ハイキング	三木、香高	8月上旬
9月1日(日)	勝浦市	W	鵜原・勝浦入り江を巡るウォーク	宇津木	8月25日(日)
9月6日(金)～8日	塩見岳	C	南アルプスのヘソ	今井	7月21日(日)
9月7日(土)	天城山	B	シャクナゲコース	東	8月31日(土)
9月8日(日)～9日	燧ヶ岳	B	前泊 御池から俎嵩、紫安嵩へ	小川	8月10日(土)
9月13日(金)～14日	北横岳	B	北横岳から池めぐり、小屋泊(ロープウェイ利用)	三品	7月20日(土)

日本山岳会千葉支部

日程	山名	難度	備考	リーダー	締切
9月16日(土)	初級登山教室(場所未定)		実技一山の病気と救急法	三品	
9月21日(土)	三頭山	B	ブナの路	東	9月14日(土)
10月4日(金)~6日	越後・中ノ岳	C	十字峡から、避難小屋泊	三田	9月15日(日)
10月5日(土)	一切経山	C	魔女の瞳に出逢う	今井	9月14日(土)
10月6日(日)	東京都文京区	W	小石川後樂園&植物園周辺ウォーク	宇津木	9月29日(日)
10月20日(日)	日向山(尾白川溪谷)	B	天空のビーチと溪谷(山梨)	今井	9月28日(土)
10月27日(日)~28日	鳳凰三山	C	鳳凰小屋泊地藏岳から反時計回りに観音岳、薬師岳 中道を下る	小川	8月30日(火)
11月9日(土)	九鬼山	C	田野倉から登る大月の名山	今井	10月26日(火)
11月16日(土)	愛鷹山(越前岳)	B	沼津泊 最高峰越前岳へ(余裕があれば富士見台まで)	小川	10月10日(土)
11月17日(日)	千葉県内	W	紅葉スポットを巡るウォーク	宇津木	11月10日(日)
11月23日(土)~24日	関東4支部懇談会		内浦山県民の森にて開催		
12月1日(日)	御殿山	B	南房総の山	今井	11月23日(土)
12月7日(土)	年次晩餐会				
12月8日(日)	晩餐会山行				
12月14日(土)	奥多摩・浅間嶺	B	払沢ノ滝から数馬集落へと尾根歩き	小川	12月5日(土)
12月14日(土)	生瀬富士	B	茨城のジャンダルム	三田芳	12月4日(水)
12月14日(土)	東京都立川市・小金市	W	昭和公園&江戸建物園周辺ウォーク	宇津木	12月7日(土)

※ W; ウォーキングクラブの予定が変更になった場合はメンバーに事前連絡します。
メンバー登録はリーダー宇津木さんにメールしてください。

● 今年度の初級登山教室の案内 ※机上教室は津田沼のヨシキスポーツさんのYYルーム(14:00~16:00)
8月3日;山の天気(暑いので実技無し)9月15、16日;山の病気と救急法

● 袖ヶ浦市長浦中学校の支援お願い 長野県根子岳;9月5日、10日、12日、19日、24日(要前泊)
ガイドさんと一緒に中学生山行のサポートをします。人員が必要です。是非とも応援お願いします。

お知らせ

《事務局から》

● 支部年会費の納入お願い

滞納している会員・会友の方が散見されます。支部の運営にとって大切な原資です。是非、納入下さい。
未納者には、支部だよりの配布、並びにメール他での連絡を停止します。

以下がゆうちょ銀行の送金口座です。

記号番号で送金の場合:00270-8-105649

店名で送金の場合:ゆうちょ銀行029店105649

加入者名 日本山岳会千葉支部



● 2024 年度関東 4 支部懇談会開催のお知らせ

本年度の関東 4 支部（千葉・茨城・栃木・群馬）懇談会は千葉支部主催で行われます。日程と場所は下記の通りです。

日時：2024 年 11 月 23 日（土）～24 日（日）

場所：内浦山県民の森

会員・会友のご参加よろしくお願いたします。詳細は別途通知します。



● 5 月の支部連絡会議が開催

6 月の JAC 総会を前に 5 月 30 日、リモートによる支部連絡会議が開催されました。

会議で説明された主な項目は下記の通り。

- 1、 JAC 入会金の値下げ（20,000 円から 10,000 円）
- 2、 ネットによる入会申込書受け付け（紹介者 2 名は必要）
- 3、 会報「山」の郵送費削減方法（紙か電子版か会員が選択する）

その他、本部登山講習会の状況、山岳基本法の取り組み、高頭祭山行などの説明がありました。

● 役員会報告

○3 月報告 3 月 27 日（水）リモート（松田、三田、三品、甘楽、山口、小川、上村、宇津木、中田、三田芳）

◇新年度体制について（支部三役）新人事案の協議

◇山行・行事報告 2/23 裏磐梯、3/9～10 本部雪山講習、3/10 柏木山、3/15～16 浜石岳、3/30・31 登山道整備

◇山行・行事予定 3/28 支部連絡会議、クライミング教室、筑波山、富山ほか

◇報告・検討事項 支部総会、4 支部懇、長浦中学校支援、全国懇、登山教室、入退会者報告◇次年度よりウォーキング・自然学は遭難対策費 100 円とする。

○4 月報告 4 月 17 日（水）リモート（松田、三田、小川、山口、三品、三田芳、今井、中田、斉藤、宇津木、上村）

◇支部三役の交代について、支部総会議案と準備について◇支部連絡会議報告 入会金値下げ、会報の電子化、準会員制度見直し、入会簡素化、東京支部進捗

◇山行・行事報告 3/28 クライミング、3/30 筑波山、3/30・31 都内 W、4/12 二ツ箭山、4/14 武甲山

◇山行・行事予定 百蔵山、弘法山、クライミング教室、両神山、船橋 W、山菜山行ほか

◇報告・検討事項 4 支部懇、登山教室、袖ヶ浦中学校支援、入退会者報告

○5 月報告 5 月 22 日（水）リモート（三田、三品、小川、宇津木、平出、渡部、平野、三田芳、甘楽、成田、斉藤）

◇役員役割分担について、支部総会・講演会・懇親会報告

◇山行・行事報告 4/20 百蔵山、4/20 弘法山、4/21 クライミング、4/29 船橋 W、5/1～2 山菜山行、5/4～5 登山教室、5/17～19 熊野古道集中、5/19 鳥ノ胸山、5/19 鎌倉 W、5/19 クライミング、5/20 上越山菜採り

◇山行・行事予定 高原山、全国懇、ヒライデ沢、登山教室、鳥海山・月山ほか

◇報告・検討事項 4 支部懇、袖ヶ浦中学校支援、登山教室、山の日ビールパーティー、支部連絡会議

● 会員・会友の動向

《入会》

【会員】

T・Y さん（16841）白井市

【会友】

J・S さん 千葉市

M・S さん 市川市



編集後記；初夏の屋久島に行ってきました。毎年のシャクナゲ登山です。いつも行く登山口への道路の崩壊場所は見事に復旧していました。「どうか！シャクナゲに迎えられるように！」と祈りつつ・・・お陰様で 10 年ぶりのシャクナゲに出会えました。まさに登山道から見る全山がピンクと白の競演に彩られていました。更には、いなかはまだ朝ガメの産卵に出会え、今回の屋久島は強く印象に残るものになってくれました。75 歳からは青ヶ島やトカラ列島など等の島旅をゆっくりと楽しみたいと思う今日この頃です。

津田沼のヨシキスポーツさんには S A C 教室会場の提供ほか、千葉支部として大変お世話になっています。山用品を購入するときは是非ご利用して頂きたいと思ひます。会員になると割引があります。（小川和敏）